

科目ナンバー	EDU-1-062-j			科目名	教育と心理「教育心理学」(初等)		
教員名	呉 宣児			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	学校教育に必要な基礎理論として、幼児・児童・生徒(障がいのある児童を含む)の心身の発達と学習過程について学ぶが、児童(期)をより中心的にとらえる。現代社会の中で、教師になり教育実践をしていく立場として、どのような人間観・子ども観・教育観をもって教育実践に取り組むべきかについて、自分自身の(被)教育体験も振り返りながら考える。疑問を持って考える、討論や作業の中に新たな発見をし創造する、in putだけではなくout putを重視する、等通して、発想力・発信力・コミュニケーション力を養う。						
到達目標	1)心理学で明らかにされた、幼児・児童・生徒の発達段階における身体的・認知的・社会的特徴に関する理論や知見を理解すること。2)「学習の原理」を理解し、教育を実践する場(個別学習や授業など)でどのように応用可能かについて基礎的な考え方を理解し、自分で発想できること。3)教育・学習と関連するテーマについてグループワーク・討論・プレゼンテーション等の体験を通して、協働で学び合う仕組み、アクティブラーニングの仕組みなどを身につけ、教育場面への応用の基礎を身につけること。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	児童心理学の基本的理論・用語の解説は講義型授業で行うが、テーマによって、グループワークや学生によるプレゼンテーションを並行して実施する。「講義授業」ではパワーポイントシステムで重要な点を概説し、必要に応じて、ミニ実験、ビデオ資料なども用いる。講義を聞く受講生は配られるパワーポイント資料の空欄を埋めながら授業を受ける。「グループワーク・プレゼンテーション」では、課題文献を読んだ後、テーマを決めてグループ討論を行い、多様な考え方があることを確認しつつ、発表力や討論力を身につけていく。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特になし。						
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)通常授業への参加・貢献度30%:グループワークなどへの参加度とミニ感想など(2)ミニ課題 30%:資料を読んでまとめや意見を書く課題、テーマと関連する記事と意見を提出する課題など、数回のミニ課題がある。(3)最終テスト40%。児童心理学と関連する用語や理論などの基礎知識を問うテスト。試験前に、テスト問題の範囲について説明し、その範囲で出題します。注意:公欠の場合でも、その日に提出すべき課題が提出されなければ、(1)(2)の部分で減点されますので、公欠の場合も自分で行うべき課題を確認して提出してください。欠席した場合は、必ずその日に配られた資料と課題があるかを確認してください。指定の資料やコメントなどは、ムードルで共有します。						
教材	・固定のテキストは用いないが、毎回必要な資料を配布する。または、ムードルで共有する。						
参考図書	①児童心理学への招待:学童期の発達と生活 小嶋秀夫・森下正康共著 サイエンス 2004年改訂版②図で理解する 発達新しい発達心理学への招待 川島一夫・渡辺弥生編著 福村出版 2010年③児童心理学 無藤隆(編)放送大学教材 2002年④講座生涯発達心理学3 子ども時代を生きる一幼児から児童へ 内田伸子・南博文(編)金子書房 1995年⑤教育心理学(第3版)子安増生他 有斐閣 2015⑥教育心理学キーワード 森 敏昭・秋田喜代美(編)有斐閣 2006⑦障害児の発達と学校の役割 高橋 登(編)ミネルヴァ書房 2011⑧生涯発達心理学 小嶋秀夫・やまだようこ 放送大学教育振興会 2002その他、必要な資料は必要に応じて授業時間に紹介したり、配布する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	オリエンテーション教育心理学とはどんな学問か。						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	・発達とはなにか。人生の中の児童期の位置づけ。発達の概念、捉え方を理解し、全人生の発達段階を理解した上で、児童期の特徴に注目する。						
授業外学修内							

容	指定の資料を読んでくる。	時間数	2
3週目			
授業学修内容	児童期の昔と今。子ども観の変化やそれに伴う教育の変化について概観する。		
授業外学修内容	ミニレポート。子供のとらえ方の変遷について調べてくる。	時間数	4
4週目			
授業学修内容	・児童期の発達を捉える上で重要な心理学者と理論ピアジェ、ヴィゴツキー、エリクソン3人の心理学者の理論を捉える。		
授業外学修内容	・配られるプリントを読んでくること。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	・幼児期から児童期へ移行期の特徴(講義＋一部DVD視聴):アニメ「となりのトトロ」を例にしつつ、幼児期と児童期の子どもに特徴を確認した後、幼児期から児童期に移行する時に子どもはどのような体験をしているのかを理解し、移行期の子どもたちと接するときに必要なことをについて学ぶ。		
授業外学修内容	子どもの問題として書かれている記事を探して持ってくる。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	児童期の認知発達と学習1ピアジェ理論を中心に児童期の認知発達の特徴を概観する。		
授業外学修内容	事前に配られる文献を読んでミニレポートを持って授業に参加すること。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	児童期の認知発達と学習2各教科と関連する子どもたちの認知と学習について捉える。		
授業外学修内容	事前に配られる文献を読んでくる。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	親子関係と友達関係乳幼児期の親子の愛着関係が、その後の児童期・青年期の対人関係への影響について捉える。		
授業外学修内容	指定資料を読んでくる。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	・学級集団の特徴と仲間関係児童期全般における友達関係の変化や学級集団の特徴や機能のなかでの仲間関係を捉える。		
授業外学修内容	子どもの友達関連の新聞記事を探して持ってくる。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	・関心・意欲と学習動機づけ論や無力感の学習説などを取り上げ、教育実践への応用点を考察する。		
授業外学修内容	子どもたちの対人関係に関する文献を読んで要約と自分の意見を書いて授業に参加する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	適応と障がいの理解1適応の概念や教室で出会う可能性のあるさまざまな障がいについて理解する。		
授業外学修内容	・配られるプリントを読んでくること。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	適応と障がいの理解2映像を通して、障がい児への理解や対応について考える。		
授業外学修内容	配られるプリントを読んでくること。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	・授業の方法と教師の役割形成スタンスの授業、共学スタンスの授業、教える授業、学ぶ授業など授業をめぐる多様な視点や授業形態について捉える。		
授業外学修内容	・配られるプリントを読んでくること。・教師と関連する新聞記事を探して持ってくる。	時間数	2
14週目			

授業学修内容	教育評価の方法教育評価の多様な目的や多様な評価方法を取りあげる。		
授業外学修内容	・配られるプリントを読んで要約し自分の意見を書いて授業時間に持ってくる。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	・まとめ:半年間学んできた内容を総合的に再検討し確認する。		
授業外学修内容	・半年間のプリント・資料を全部持ってくること。	時間数	
上記の授業外学修時間の合計		31	
その他に必要な自習時間		59	

Number	EDU-1-062-j	Subject	Educational Psychology(Elementary)		
Name	呉 宣児(Oh Seon Ah)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>As a fundamental theory necessary for school education, we will learn about mental/ physical development and learning processes of children, and students (including handicapped children) by taking a more central view of children periods. Reflecting on our own educational experience, we will consider what kind of human, child and educational perspectives we should take to teach and implement education in modern society. This course will develop your imagination and communication skills by thinking critically, creating new discoveries in discussions and work, emphasizing not only in-put but also out-put.</p>				